

平成29年（第15回）

三重県アンダーハンディキャップゴルフ競技

日 時：平成29年10月18日（水）

場 所：島ヶ原カントリークラブ

三重県ゴルフ連盟

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則27-1)

(a) アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

(b) 現にプレーするホールにおいて、球がアウトオブバウンズの境界を越えて他のホールのインバウンズに止まっても、その球はアウトオブバウンズとする。

2. ウォーターハザード（ラテラル・ウォーターハザードを含む）(規則26)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地（規則25-1）

修理地は青杭または白線をもって標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。ただし、次のものを含む。

(a) 張り芝の継ぎ目；規則付1（A）3eを適用する。（ゴルフ規則164ページ参照）

スルーザグリーンの張り芝の継ぎ目（その芝自体を除く）は修理地とみなされる。しかしながら、継ぎ目がプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則25-1に基づく障害とはみなされない。球がその継ぎ目の中にあるか、触れている場合、またはその継ぎ目が意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1に基づいて救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなされる。このローカルルールの違反の罰は、2打。

(b) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤードージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1bの救済を受けることができる。（スタンスは除く）このローカルルールの違反の罰は、2打。

4. 動かさない障害物（規則24-2）

(a) 排水溝。

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝（その道路の一部とみなす）

(c) 動かさない障害物と定義づけされている区域に近接し白線が引かれた区域は、修理地ではなく、その障害物の一部とみなす。

(d) 障害物によって囲まれた花壇はその障害物の一部である。

(e) 電磁誘導カート用の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、プレーヤーはゴルフ規則 24-2 b(i) の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2 打。

(f) 10 番ホールの防球ネットが動かさない障害物となる場合、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニヤレストポイントを決めなければならない。このローカルルールの違反の罰は 2 打

(g) 樹木の防護網。

5. パッティンググリーン上の芝張り替え跡

パッティンググリーン上の芝張り替え跡は古いホールの埋め跡と同じステータスを持ち、規則 16-1 c に基づき修理することができる。

6. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること

規則 18-2 と 20-1 は以下のとおり修正される。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。

その球やボールマーカーは規則 18-2 そして規則 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。

このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注：パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされることになる。

7. 地面にくい込んでいる球の救済

スルーザグリーンで、地面に球がくい込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げてふき、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所にできるだけ近い所にドロップすることができる。ドロップの際、球はスルーザグリーンのコース上に直接落ちなければならない。

注：「くい込んだ」とは、球が自らのピッチマークの中に入り、球の一部が地面の下にある場合をいう。

「くい込んだ」とみなされるために球は必ずしも土壤に触れている必要はない（例えば、草やルースインペディメントなどが球と土壤の間に介在することがある）

例外：1. 球が芝草が短く刈っていない区域の砂地にくい込んでいる場合、プレーヤーはこのローカルルールに基づく救済を受けることはできない。

2. このローカルルールに記載の状態以外の状態による障害のためにストロークを行うことが明らかに無理な場合、プレーヤーはこのローカルルールによる救済を受けることはできない。このローカルルールの違反の罰は、2 打。

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた資格要件を満たさなければならない。

3. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

4. 使用クラブの規格

プレーヤーが持ち運ぶドライバーはR & Aによって発行される最新の適合ドライバーヘッドリスト（モデルとロフトで識別される）上に掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。この条件の違反の罰や処置は「ゴルフ規則付属 I（B）1 a」を適用する。（ゴルフ規則 176 ページ参照）

5. 使用球の規格

プレーヤーの使用球はR & Aルールズリミテッド発行（U S G A 版）の最新の公認球リストに載っているものでなければならない。この条件の違反の罰や処置は「ゴルフ規則付属 I（B）1 b」を適用する。（ゴルフ規則 177 ページ参照）

6. プレーの中断と再開

(a) プレーの中断(落雷などの危険の伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8 b、c、d に従って処置すること。

(b) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレー途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(ゴルフ規則 6-8 b 注)

(c) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習禁止(規則 7 注 2)

ホールとホールの間では、プレーヤーは最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。この条件の違反の罰や処置は「ゴルフ規則付属 I (B) 5 b」を適用する。(ゴルフ規則 181 ページ参照)

8. 移動

セルフプレーによる乗用ゴルフカート使用時の規則

ラウンド中のゴルフカートの使用を認める。カートは共用するプレーヤー同士が運転するものとし、カートの運転する目的で特定の者を雇ってはならない。

カートはプレーヤーの携帯品の一部とする。

(1) 共用カートとそれに乗っている人や物は、球が関連している時は、全てのその球の持主の携帯品とみなす。但し、そのカートを共用しているプレーヤーの 1 人がカートを運転していた時は、そのカートとそれに乗っている物は全てそのプレーヤーの携帯品とみなす。

(2) カートを共有しているプレーヤー以外の者のカート使用は禁止する。

☆カートの運転は、同伴プレーヤー間で適時、交替するよう留意ください。

9. キャディー (規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーのキャディー使用は禁止する。この条件の違反の罰や処置は「ゴルフ規則付属 I (B) 2」を適用する。(ゴルフ規則 179 ページ参照)

10. スコアカードの提出 (裁定 6-6 c / 1)

本競技のスコアカードの提出は、スコアリングエリア方式を採用する。

11. タイの決定

タイの決定は該当する競技規定に定めるか、委員会によってゴルフコースで公表される。

12. 競技終了時点

本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

13. 競技の成立

本競技の参加者全員が正規ラウンドを終了できなかった場合、委員会は競技成立について別途定めるものとする。

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近および、ハウス内の掲示板に告示する。

2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを課すことがある。
4. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。なお、定義外の取り扱いをする場合においては、別途ローカルルールを追加する。
5. ティーマーカーは、男子はパンダマーク、女子は赤いキジマークとする。
6. プレー中、帽子を着用すること。服装は、三重県ゴルフ連盟及び会場倶楽部の服装規定を遵守すること。
7. 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1カード(24球)を限度とする。
8. コース内は、携帯電話を使用禁止とする。
9. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
10. 本競技では、個人所有の「距離計測機器」を使用することはできない。ただし、カートに備え付けてある「カートナビ」は使用することができる。

- 追記
1. 朝食の用意は、午前6時00分よりします。
 2. 練習場は、午前6時00分よりオープンします。
 3. 昼食はハウス食堂およびコース売店を利用のこと。
 4. バッグは口径9.5インチ、重量は13キロを超えないこと

指 定 練 習 日

10月12日(木)・13日(金)・17日(火)のうち2日間とする。ただし、17日(火)は午後3時までにプレーを終る事。プレー料金は会員並み扱いとする。指定練習日のスタート時間は前もって島ヶ原カントリークラブに申し込み予約すること。(ネット予約は不可)

なお、キャンセルする際は、会場の規定によりキャンセル料が掛かる場合がある。予約時に会場に確認すること。また、練習ラウンドは1個の球でプレーすること。

TEL 0595-59-3111

競技委員長 水谷 惇

プレー中は、本競技の条件を持参して下さい。